

やまゆり
ニュース vol.502026
10

麻生市民交流館やまゆり



中山正夫理事長

今号の撮影写真「ダリア」



秋の やまゆり

さまざまな市民活動の中でも、創作的な活動にはとても興味が湧くものです。楽しむためのカラオケや麻雀、健康維持のためのヨガや太極拳といった活動もちろん面白そうですが、自分の手で想いを込めながら何かを創作し、たくさんの人の目や耳や心を楽しませてくれそうな活動があると、少し別の興味が湧いてくるのです。それは、音楽演奏や演劇を通じて、あるいは絵画、書、写真、陶芸、手芸などの作品を通じて自己表現を試みることが、若くあり続ける秘訣のひとつではないかと思うからなのです。

社会的動物である人間は、多くの人たちと接しながら生きていくので、その中では最低限の自己アピールが必要になると思いますが、創作活動はこの辺りに効果がありそうに思えるのです。たとえ引っ込み思案で人付き合いが苦手な人でも、自己表現が求められる活動と制作発表によって、様々な理解者やその予備軍が向こうから近づいてきてくれそうです。人を孤独から守ってくれそうな気がするのです。

毎年やまゆりでは「やまゆり楽芸会」、そして「アート・フェスタやまゆり」という二大イベントを秋に開催します。市民の皆さんが、市民によるいろいろな生の創作活動に触れ、その面白さに共感を持っていただけるまたとない機会だと思います。日程をチラシやホームページでご確認いただき、市民交流館やまゆりにぜひ足をお運びくださいますようお願いいたします。

認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター
理事長 中山正夫

やまゆりでクラシックコンサート

麻生フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる

気軽に楽しむ
クラシック2026.11.29 (日)
13:30 開場 14:00 開演クラシックのお好きな方はもちろん、
あまり馴染みのない方でも楽しんでいただけるコンサートです第一部
クラリネット
アンサンブル(演奏予定曲)
・世界の車窓から
・スーパースターズ
・Tea for Two
・「フィガロの結婚」序曲
・日本の歌メドレー第二部
弦楽四重奏(演奏予定曲)
・アイネクライネナハトムジーク
・瀬戸の花嫁
・ユーモレスク
・とんちのトロロ
・弦楽四重奏「アメリカ」第4楽章

日時	2026年11月29日(日) 13:30開場14:00開演
場所	麻生市民交流館やまゆり
入場料	1000円(小学生以下無料)
申込方法	やまゆりの窓口でチケットをお買い求め下さい

やまゆりニュース vol.50 目次

2
面麻生
尻手黒川道路トンネル工事—もろい砂岩の難工事—
サプライズ
しんゆりの未来、ただいま「マイクラフト」で建設中!?3
面Amusement
今年は麻生小学校での野外上映会
お役立ち情報
富士山大噴火への備え4
面

区民講師公開講座参加者募集



尻手黒川道路トンネル工事 ーもろい砂岩の難工事ー

尻手黒川道路は1946年の都市計画道路策定から始まりすでに80年たつ。2010年には山口台交差点の南から津久井道まで延び、工事中に縄文土器が出土し公開されている。その先の山を突き抜けるべくトンネル工事が始まるも開通予定が何度も遅れた。やっとトンネルが掘りぬけ8月2日に工事状況が公開された。

完成が待ち遠しい尻手黒川道、トンネルは黒川に向かって山岳トンネル189.5mと開削トンネル97.5m二つの工法で作られている。工事が長引いたのは山岳トンネル部が「包丁で削れる」ほどもろい砂岩の中を掘り進んだためである。ハ

リネズミのようにトンネルの壁から四方八方穴をあけ砂岩にロックボルトを打ち込んで一体化する(新オーストリアトンネル工法)。トンネルの天井から山頂までは25mほどあり天井は1平方m当たり42tの重さがかかっているという。完成に向けて内壁をコンクリートで塗り

固める作業が進んでいる。

川崎市の道路計画は総延長310km。麻生区の進捗率は62%とまだまだ残っている。区内のあちこちで拡張工事が進み道路が整備されていくのを見ると粘り強い行政の努力に感心する。



トンネルの内壁工事の様子



山岳トンネルと開削トンネル



しんゆりの未来、ただいま「マイクラフト」で建設中!?

新百合ヶ丘が、あの「マイクラフト」の世界に出現。つくっているのはプロでも専門家でもなく、麻生区の子どもたちだ。

2026年7月にスタートした「新百合ヶ丘マイクラフト化計画(第2期)」。麻生区の市民提案型協働事業として、一般社団法人サステナブルマップ(代表理事・今井雄也)と麻生区が取り組むプロジェクト。参加しているのは小3から中3の13人。2027年2月まで全15回+自主開催という本格的な取り組みだ。

なぜマイクラだったのか。今井さんによれば、きっかけは子どもたちと制作した「麻生区サステナブルマップ」。集まったポイントは97拠点にもなり、「平面の地図では限界」と感じたことから、3Dで自由に発想を広げられる

マイクラに着目したという。

そして、子どもたちが描き始めた「未来のしんゆり」構想が面白い。北口駅前に噴水や滝のある大きな広場。蔵書が豊富で、遠方からも人が訪れたい大図書館。バス専用の地下道をつくり、歩行者が安全に街を闊歩するアイデアも飛び出した。将来この街で暮らす自分たちの視点から、「こうだったらいいな」を具体的に考えている。

今井さんは「大人が出来ることは環境を作ること、制作にはなるべく口を出さない。ただし、守って欲しい絶対のルールが一つ。それは『ほかの人が作ったものは壊さない』こと」。

試行錯誤を繰り返し、自由に発想しながら、仲間の考えも尊重する。マイクラの中で行われているのは、小さ

な「まちづくり」そのものかもしれない。

11月29日にはお披露目、2027年2月7日のサステナブルマルシェで成果発表を予定している。画面の中で生まれたアイデアが、いつか本物の新百合ヶ丘の風景になるかもしれない。



未来のしんゆり建設中。それぞれのアイデアをカタチにしていこう子どもたち



「100提案した中で、1つでも実際のまちづくりに反映されたらうれしい」という今井雄也さん



今年は麻生小学校での野外上映会



子どもたちの記憶にも残る、野外での素敵な映画上映

今年の「KAWASAKIしんゆり映画祭 野外上映会2026」は、9月5日・土曜日、17時より川崎市立麻生小学校(新百合ヶ丘駅から徒歩8分)の校庭で行われた。

射的・スーパーボールすくい・ヨーヨーすくい、塗り絵などのお楽しみコーナーがあり、テント張りやキッチンカーなどでの屋台が出ている。オープニングイベントでは

昭和音楽大学卒業生のサクソカルテットによる演奏、しんゆり映画祭によるジュニア映画制作ワークショップの活動紹介動画が映され、アニメーションに関するミニワークショップの後、19時より上映開始。映画は「ヒックとドラゴン」(ディーン・デュボア/クリス・サンダース監督 アメリカ2010年製作)。

校庭に張られたスクリーン前の観客スペースは、開場の17時から順にレジャーシートを敷いて座っていった親子連れの多くの家族で、埋めつくされ、後ろに用意された椅子席もすべて座られている。

上映時間は98分。皆さん、エンディングロールまで見て、シートを

畳み帰路についていった。この日は約700名の来場者があった。

KAWASAKIしんゆり映画祭(10月下旬～)のプレイベントとしての同上映会の始まりは2000年から。16年まで麻生小学校で毎年行われてきたが、芸術・文化のまちづくりを区全体に広げていきたいという方向性から、翌年より、各小学校で開催している。



校庭中央では「シャボン玉オヤジ」のパフォーマンスも繰り広げられ、子どもたちが追っかけ回していた

主催:NPO法人KAWASAKIアーツ、川崎市麻生区、協賛:新百合ヶ丘駅南町内会、緑ヶ丘自治会



富士山大噴火への備え



富士山の大噴火が近づいているかもしれない(水、食料、携帯トイレの備蓄を)

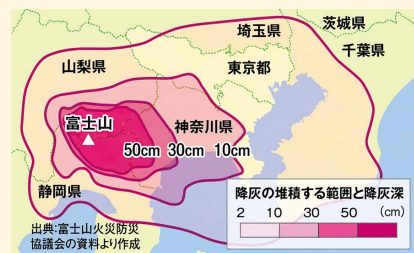
今年4月の上旬、NHKのニュースや特別番組で盛んに富士山の大噴火について扱っていた。気になったのでいろいろ調査し、実情と噴火したときの対策についてまとめた。

富士山の噴火は、江戸時代の宝

永噴火(1707年)を最後に確認されていない。今のところ噴火の兆候は見られないが、活火山のため、いつ噴火が起きてもおかしくないとされる。富士山が大噴火した場合、大量に吹き出す火山灰により、被害は神奈川、東京、千葉、埼玉に及ぶ。眼や気管支などに灰が入ると、呼吸器疾患が生じるので外出は極力避け、外出するときはマスクやゴーグルの着用が必須。灰が降れば、河川やダムの水質が悪化、浄水施設の処理能力が低下すれば断水、下水も詰まる。灰は水に濡れると電気を通すので、雨が降って電柱の碍子に絶縁破壊が起きると停電になる。噴火15日後に神奈川(麻生区)、東京には灰が

3センチ積もると予想されるので、列車や自動車、自転車は走行困難が予想される。雨が降って泥化するとやっかいだ。

噴火に向けての備蓄は、大規模地震と同じだが、地震より復旧に時間を要するので、期間は2倍の最低2週間が望ましい。噴火の予知は数時間から数日前と言われるが、日頃からの備えが大切だ。



降灰の堆積する範囲と降灰深さ
(出典:富士山火災防災協議会資料)

2026年度
第16回

区民講師公開講座 参加者募集

受講料
無料

2026年12月～2027年3月、麻生交流館やまゆりで区民講師公開講座が開催されます。1講座ごとに申し込むことができます。ぜひお気軽にご参加ください。



昨年の区民講師公開講座の様子

December	12月	8日 火	10:00 12:00	ポーセラーツ(陶絵付け) 絵心が無くても大丈夫!シール感覚で驚くほどキレイに仕上がる体験、真白な器をご自身のセンスで彩り世界に一つの食器をつくりませんか?	講師 塚本 美樹
		13日 日	15:00 16:00	椅子に座って楽しむやさしいヨガ 椅子に座ったまま、呼吸に合わせてゆっくり身体を動かします。無理なく楽しめる、やさしいヨガです。	講師 田中 佑里恵
		19日 土	14:00 16:00	現役通訳が語る、昔と今の台湾暮らし 「日台ハーフの現役通訳が語る」子ども時代に過ごした懐かしい台湾。昔と今の生活様式や文化、社会の移り変わりをお話します	講師 大嶋 藤嘉
January	1月	16日 土	14:00 16:00	「筆ペンでかく季節のメッセージ(己書)」 筆ペンでかく己書は思いのまま筆を走らせる自分だけの書すべてが〇	講師 永澤 蘭子
		21日 木	17:30 19:30	はじめての情報発信教室 言葉と写真でつなぐ地域コミュニケーション 広報紙、SNS、イベント告知など地域の情報発信にすぐ役立つ内容	講師 佐々木 直子
		27日 水	14:00 16:00	桜の基礎知識 野生のサクラ、園芸品種のサクラ、ソメイヨシノ、そのほか、各種サクラの特徴、特性など	講師 澤田 正樹
March	3月	13日 土	14:00 16:00	眼からウロコの介護・看取り 介護・看取りの現場で起きる”心の動き”を、水(守る)・光(照らす)・深淵(理解する)・風(未来へ進む)の視点から読み解く	講師 山上 景子
		14日 日	14:00 16:00	体と心を整える季節の食養生&セルフケア～薬膳茶の紹介とともに～ 人生100年時代、健やかでイキイキと過ごすために季節の変わり目の食養生&セルフケアを、薬膳の視点で読み解きます	講師 吉澤 純子
		20日 土	14:00 16:00	子供と一緒にコンサートをやりませんか お母さんと一緒に身近な場所で音楽に囲まれたら素敵と思いませんか?身近なところで小さくてもよい、0歳から生の音楽が聴ける場所を探そう	講師 向山 美智子

申込方法

各講座の詳細は、それぞれのチラシをご参照ください。開講月の1か月前までに公示されます。受講受付は、開講月の前月1日からです。先着順での受付で、定員になり次第締め切ります。受講申込みは、チラシ裏面申込書に記入して、「やまゆり」窓口へご持参いただくか、FAXで提出して下さい。

お問い合わせ ☎ 044-951-6321 Fax. 044-951-6467



麻生市民交流館やまゆり



ホームページ更新中 ▶▶▶



開館日

平日 9:30～17:00

休館日

平日の夜間 及び土・日曜・祝日は、
予約により会議室・サロンが利用可能

アクセス

年末年始、施設点検日
小田急線「新百合ヶ丘」駅南口から徒歩4分

住所

〒215-0021
川崎市麻生区上麻生1-11-5

TEL

044-951-6321

